

## 職場体験感想文コンクール2024

タイトル	給食調理員のありがとう	学年	236
学校名	新庄市立 日新中学校	氏名	中島 瑞来

私は、保育園の給食調理で、職場体験に行きました。小学生の頃から料理をすることが好きで、将来は料理をする仕事に就きたいと思っていたので、体験に行く前は、楽しみや、少し不安な気持ちがありました。職場についた後、少し経たないうちに着がえをし、最初は、下処理から始まりました。食材を切る際は、中学校などとは違い、保育園児が食べやすいサイズに切らなくてはいけなかった。すごく大変で、時間もかかりました。私が体験に行ったときは、パンでしたが、ご飯のときは、4kg分の米を炊いていることを知り、びっくりしました。調理場には、回転釜やコンベクションオーブンなど、調理器具がたくさんあり、どのように使うのかなど興味が湧きました。混ぜるものは、全体がしっかりと混ぜるようにするのは、重みがあり、苦戦しました。アレルギーの子がいるとすることが多くなるため手間がかかることがわかりました。保育園は、盛り付けもあるため、同じグラム数を何枚もくり返していくと、1回でできるようになっていました。調理が終わり、子供達が笑顔で、楽しみそうに給食に向かっている姿を見て、大変だけど、やりがいのある仕事だなと感じました。そして、おやつが作り終わった後は、片付けをしました。お皿などは、全て手洗いで洗って、境やガラス、調理台など、何回も拭いて、給食にゴミなどが入らないように、清潔感を保っていることを知りました。普段あたりまえに食べている給食の過程を知り、食材や調理員さんのありがとうがすごく感じました。私は、1日という短い時間でしたが、調理員さんは、日々、仕事をこなしていると考え、尊敬する存在で、あたりまえだと思ってはいけなかったと思いました。給食調理員のありがとうをもっと多くの人の知ってもらいたいと考えました。そして、初めて食べた給食は、最高においしく感じました。